

ステップ① 準備する

必要な物を用意する



冬場など「寒い部屋に保管したチップと血糖計」を「暖かい部屋へ持って行って測定する」場合は、チップと血糖計を20分ほど測定する場所へ置いて温度になじませてから測定してください。温度変化により測定値に影響が出ることがあります。

ステップ② 測定用チップをつける



①電源を入れ、②保護キャップをはずす。
(イジェクターを前に押し出して保護キャップをはずす)

測定用チップのフィルムシールをすべてはがし、測定用チップを血糖計の先に押し込む。まっすぐにチップケースを引き抜く。

「ピピッ」と鳴って、「OK」と表示されます。

※「周囲の温度が、低い」が出た場合は測定器の温度が低いことが想定されるので、温度になじむまで20分以上待つ。

ステップ③ 穿刺する



針をまっすぐに隙間なく押し込む。その際に、イジェクターには触れないようにすること。針は根元を押さえながらキャップをねじってはずす。

よく乾かす
測定する指(穿刺する指)をアルコール綿などで消毒する。

プッシュボタン
押す
針を指先に軽く当てて、プッシュボタンを押す。

約2.5ミリ
指先を軽く押して血液を出す。

【血液量目安】
●2.5ミリ(原寸)

穿刺の深さを調整するときは…



ダイヤル突起の「マーク」と目盛りを合わせる

【目盛りを選ぶときの目安】
やわらかく薄い皮膚…目盛り♥~1
平均的な皮膚…目盛り2~3
厚くて、かたい皮膚…目盛り4

ステップ④ 測定する



「OK」の表示を確認する。

何も表示されていないときは、「電源」を押し、「OK」と表示されるまで待ってください。

測定用チップの先端を血液に軽くつける。「ピー」と鳴るまで先端をつけておく。音が鳴ったら血液からすみやかに離し血糖計を静かに置く。

「ピー」と音が鳴り、測定値が表示される。

ステップ⑤ かたづける



空のチップケースをかぶせ、イジェクターを前に押し出してチップをはずす。

電源を切る。

血糖計に保護キャップをかぶせる。

必ず針にキャップをかぶせてから穿刺具のイジェクターを押し出す。

血糖計と穿刺具を携帯ケースに戻す。

こんなとき、どうしたらいいの？



血糖値を正確に測定するためのポイントを説明します。初めてお使いの方は、取扱説明書(とらのまき)を必ずお読みください。

注意 必ずお守りください ●測定した結果について疑問を感じたときは、必ず医師に相談してください。●糖尿病の治療管理は、必ず医師の指導のもとに行ってください。とくに、経口薬、インスリンの量や回数は、本人や家族、介護者の判断で変えないでください。

Q 「E01 測定できません」表示が出ている

- A** ●測定用チップが斜めに入っている。
●測定用チップの押し込みが浅い。
血液を吸引する前の場合、奥までしっかり測定用チップを押し込んでください。測定用チップに血液がついてしまったときは、新しい測定用チップと交換して、測定しなおしてください。
- A** 使用済みの測定用チップがついている。
新しい測定用チップに交換して測定しなおしてください。
- A** 血糖計の測定窓に汚れ、ホコリがついている。
綿棒などで測定窓を拭いて、再度新しい測定用チップを装着してください。

測定できません E01
・チップを正しく装着
・測定窓を拭く



Q 「E03 測定エラー」表示が出ている

- A** ●測定用チップに吸引させた血液量が少ない。
●測定用チップに十分量の血液を吸引させる前に、本体に振動が加わり測定が開始された。
●測定中にイジェクターを押してしまい、チップが浮いてしまった。
●血液を2度付けした。
新しい測定用チップと交換し、適量(約2.5ミリの球状)の血液を吸引させて再測定してください。
- A** 血液に水分や消毒用アルコールなどが混じった。
測定する指を十分に乾かしたのち、新しい測定用チップと交換して測定しなおしてください。
測定対象が血液以外(水等)であった。
測定対象が血液である(血液以外の物質が混入していない)ことを確認してください。
- A** 開封して時間が経っている測定用チップを使用した。
新しい測定用チップを開封し、直ちに使用して測定してください。
- A** 使用期限の過ぎた測定用チップで測定した。
使用期限内のチップと交換し、再測定してください。
- A** ヘマトクリット値が60%を超える血液や20%を下回る血液では測定値が表示されない場合があります。
上記Aの項目を確認のうえ新しい測定用チップと交換して測定しなおしてください。

測定エラー E03
血液量を確認/チップ開封後すぐに再測定

Q 「E08 周囲の温度が高い」「E09 周囲の温度が低い」表示が出ている

- A** 適温(5~40℃)以外の場所で測定しようとした。
携帯ケースから取り出し、適温の場所に移動後20分ほど置いて、表示が消えてから測定しなおしてください。

周囲の温度が高い E08
5-40℃の場所でエラーが出なくなるまで待つ

周囲の温度が低い E09
5-40℃の場所でエラーが出なくなるまで待つ

Q 「E10 値が600より高い」「E12 値が20より低い」表示が出ている

- A** 新しい測定用チップと交換して、測定しなおしてください。
「E11・E13 すぐに医師に相談」が表示された場合は、かかりつけの医師に相談してください。

値が600より高い E10
すぐに再測定

値が20より低い E12
すぐに再測定

Q 測りかたで血糖値が変わることがありますか

- A** 次のような場合には、正しい測定ができない、あるいはエラーが表示されることがあります。

測定用チップの先端を離すタイミングが早い、または遅い

1. 「ピー」と鳴る前に測定用チップ先端を血液から離すと、正しく測定できないことがあります。
2. 「ピー」と鳴った後、測定用チップ先端を血液に長く当て続けると、正しく測定できないことがあります。

血液を出してから時間がたった

血液は、空気に触れるとすぐに凝固しはじめます。凝固が進んだ血液は、正しく測定できないことがあります。できるだけ早く吸引してください。また、測定しなおすときは、血液をふき取り、最初からやりなおしてください。

吸引しても測定がはじまらず、血液を付け足した

吸引中、測定用チップを血液から離し、再度血液を吸引すると、その途中で空気が測定用チップの中に入り正しく測定できないことがあります。新しい測定用チップと交換して、血液を適量(約2.5ミリの球状)出し、1回で吸引して測定ください。

血液がなかなか出ず、無理やり押し出した

無理やり押し出すと、組織液の混入により、正しく測定できないことがあります。このようなときは、取扱説明書(とらのまき)をご覧ください。穿刺(せんし)の深さを調整してください。

測定用チップのフィルムシールをはがしてから、時間がたった

測定用チップのフィルムシールをはがしてから時間がたつと、測定用チップ内の試験紙が湿気をおびて、測定値が低くなる場合があります。フィルムシールをはがしたら、すぐに血糖計へ装着して測定をはじめてください。

Q 「E04 測定エラー」表示が出ている

- A** 2回続けて測定エラーとなった。
上記「E03 測定エラー」に記載されている対処方法を再確認したうえで、病院もしくはテルモ・コールセンターにお問い合わせください。

測定エラー E04
取扱説明書の表示ごとの対処方法を参照

使用前点検について

正しい測定結果を得るため、使用前にチェックを行いましょう。

チェック箇所	使用者による点検内容	頻度
外観	・測定窓 測定窓に汚れ、ホコリがついていないか確認しましょう。汚れている場合は綿棒などで測定窓を拭いて清潔に保ちましょう。	毎回
	・外装 汚れ、破損がないことを確認しましょう。	毎回
液晶点検	電源を入れた際に表示欠けがないことを確認しましょう。	毎回
	・電池残量 電池マークが出ていないか確認しましょう。	毎回
	・日時 正確な日時が表示されているか確認しましょう。	毎回
自動点検	測定用チップを装着後に「血液をつける」が表示されるか確認しましょう。	毎回

消耗品一覧

	梱包数量	注文コード番号
測定用チップ	25個入り/箱・30個入り/箱	MS-FC025・MS-FC030
専用針	30本入り/箱	MS-GN4530
穿刺具(ファインタッチII)	1本入り/箱	MS-FT2R

販売名:メディセーフフィット 医療機器承認番号:22100BZX00858 特定保守管理医療機器
販売名:メディセーフフィットチップ 体外診断用医薬品
販売名:メディセーフファインタッチII 医療機器届出番号:13B1X00101000068
販売名:メディセーフ針 医療機器認証番号:20900BZZ00076

テルモ・コールセンター
糖尿病関連商品専用ダイヤル

☎ 0120-76-8150

(24時間365日 受付)